

▼INDEX▼

■【内部監査情報】

・令和２年度内部監査が始まりました。

■【監査ニュース】

・大学入学共通テスト第２日程 校長が判断 受験生の選択尊重　外５件

■【連載企画】

・魁！！Ｐ塾「東北大学オンライン事務化宣言」編

■【Audit Cafe】

・雄飛

表題写真：七北田ダム河畔のシジミチョウ

内 部 監 査 情 報

・令和２年度内部監査が始まりました。

令和２年度の内部監査について、監査対象部局には、「フォローアップ監査」（８月３１日付け）及び「競争的資金及び標準会計監査」（９月８日付け）の実施通知をお送りさせていただいたところです。

「競争的資金の監査」及び「標準会計監査」における監査対象事項は、令和元年度に執行した科学研究費助成事業（科学研究費補助金）や受託研究費等の競争的資金及び物品管理手続全般です。

監査項目として、会計事務全般の内部統制、公的研究費の不正防止、物件費の取扱い、旅費・謝金・ 人件費の取扱い等について確認します。 また、文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」への対応及び「科研費ハンドブック（研究機関用）」等に定める特別監査として、研究室ヒアリング及び非常勤雇用者ヒアリング、物品の実査を行います。

また、「フォローアップ監査」の監査対象事項は、令和元年度に実施した内部監査(競争的資金の監査、標準会計監査、フォローアップ監査)に係る内部監査報告書において、指摘事項として記載された事項となります。

前号でもお知らせしておりますが、今年度は例年と異なり、直接部局等へはお伺いせず、書面及びオンラインを活用して監査を実施します。大変恐縮ですが、ご対応のほど、 よろしくお願いいたします。

【内部監査計画・報告】の詳細は、コチラ↓

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html

監 査 ニ ュ ー ス

・大学入学共通テスト第2日程 校長が判断 受験生の選択尊重【7/1 河北新報】
・大学生の学習傾向 出席授業数は多い一方、予習・復習時間少なめ
文科省「全国学生調査」結果公表【7/6 朝日新聞】
・大学の研究開発 運用益で研究者の待遇改善や施設の整備など支援
政府、2021 年度にもファンド創設へ【7/16 日本経済新聞】
・「まち・ひと・しごと創生基本方針」 地方国立大の定員増
若者の地元定着、遠隔地勤務後押し【7/16 河北新報】
・大学病院 手術件数 前年同月比 3 割減 新型コロナウイルス感染拡大の影響で【7/21 河北新報】
・対面授業再開に苦慮 若者の新型コロナウイルス感染増える仙台圏の大学
拡大防止策との両立課題【7/26 河北新報】



連 載 企 画



大学の中で行き場のなくなった不良職員たちを集め、過激なスパルタ教育を施すＰ塾。
不良職員たちを更生させるため、毎回、Ｐ塾長が大学業務の真髄を叩き込む。
第８回となる今回は、「東北大学オンライン事務化宣言」についてです。

P 塾長



今回は、「東北大学オンライン事務化宣言」について、講義を行うこととする！！

本学は、去る令和2年6月に、東日本大震災を経験した本学が、新型コロナウイルス感染症という世界規模の危機においてもそれを克服し、New Normal 時代を見据えた新たな社会構築に貢献していくため、総長及びプロボストのリーダーシップのもと、「ニューノーマル（新常態）」を見据えた新たな取組として、**「窓口フリー」、「印鑑フリー」、「働き場所フリー」の3つの柱**で構成される**「オンライン事務化」を宣言**しました。

東北大学オンライン事務化宣言　－New　Normal時代でのワークスタイルの変革－
https://www.tohoku.ac.jp/japanese/newimg/pressimg/tohokuuniv-press20200528_01_online.pdf

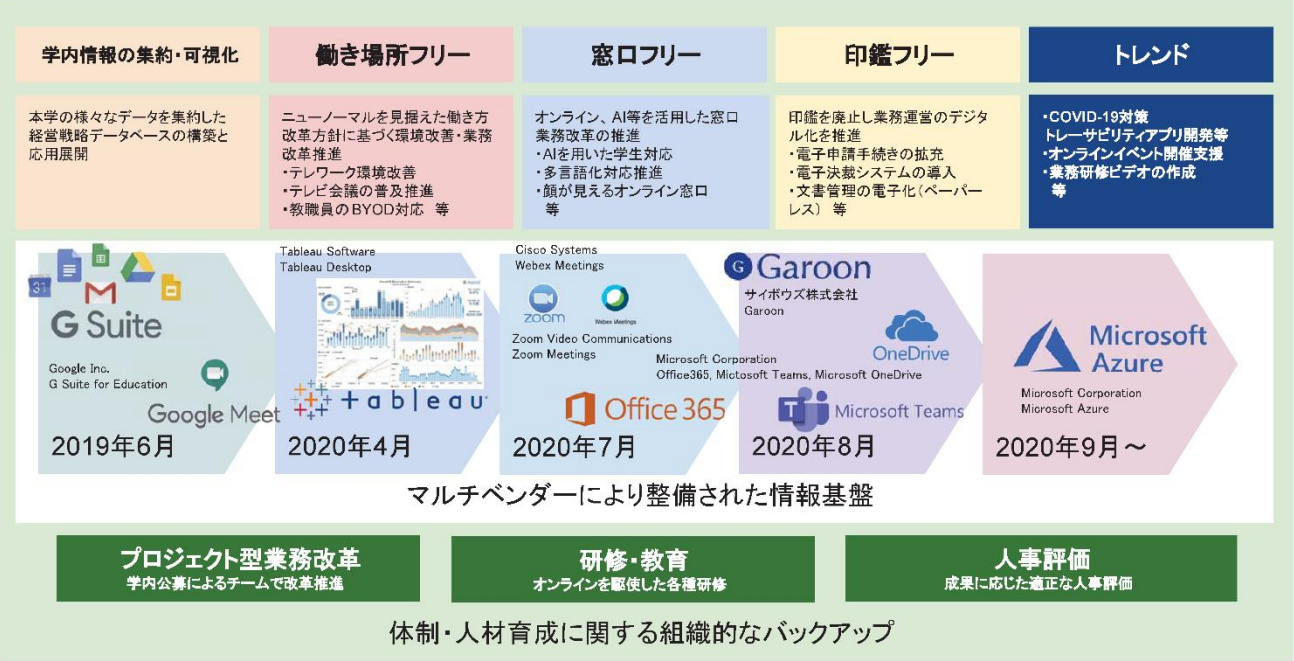
また、同年7月には、社会・経済・科学技術が地球規模で連動する世界の将来像を見据え、他大学にはない東北大学独自の強みと可能性を見極めたうえで、2030　年に向けた東北大学のあるべき姿・ありたい姿（ビジョン）と、その実現を目指した中長期の方針（重点戦略）、さらには、具体的なアクション（主要施策）等を提示した「東北大学ビジョン 2030」（平成30年11月　策定・公表）をアップデートし、大学の変革を加速する**「コネクテッドユニバーシティ戦略」を策定**しました。

「コネクテッドユニバーシティ戦略」は、今回のコロナ危機に続くニューノーマルの時代を見据え、教育、研究、社会との共創など、**本学の諸活動のオンライン化を強力に進める**とともに、サイバー空間とリアル空間の融合的活用を通して、ボーダレスで多様性に富み、真にインクルーシブな大学を創っていくものとしています。

東北大学ビジョン2030（アップデート版）
https://www.tohoku.ac.jp/japanese/newimg/newsimg/news20200729_00.pdf

上記デジタル革新に向けて、これまで継続的に実施してきた業務の見直しをさらに推進するため、データとデジタル技術を活用して、**対面・紙・印鑑文化等のワークスタイルを変革するデジタルトランスフォーメーション（DX）による業務改革を実現することなどを設置趣旨とした「業務のDX推進プロジェクト・チーム」が新たに設置**され、今般のコロナ感染症対応を踏まえ発出した**「東北大学オンライン事務化宣言」に即した、窓口フリー、印鑑フリー、働き場所フリー毎にワーキング・グループを設置し、学生窓口・各種申請手続及び文書管理・決裁などの各業務のオンライン化**並びにテレワーク環境のさらなる強化等を同時進行で実施していくこととしています。

DXによる業務改革の基本構想



令和２年７月21日開催　部局長連絡会議・教育研究評議会　報告事項5「DXによる業務改革推進体制」資料から抜粋

前号のおうでぃっとめーるにおいてもお知らせしているところですが、当室では、「東北大学オンライン事務化宣言」を受け、今後実施される施策に関する各部局の取組状況を把握するための「調査」を、内容を厳選した形で実施する予定としておりますので、その際は、ご対応の程、よろしくお願いいたします。

このコーナーでは、皆様からの疑問・質問をお待ちしています。
日頃の業務の中でのちょっとした疑問（なんでこんな作業が必要なのだろう）や、
いまさら上司や先輩に聞けないけれど、実はよく理解できていないことなど、
いただいたご質問には出来る限り誠意をもってお答えします！
ご質問は、メール、ファックス、お手紙で！（匿名でも大丈夫です）

Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、「雄飛」と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。

6回目の投稿となります。
前回もお話ししましたとおり、私が住む地区は、周りに寺社が多数あります。
今回は、仙台の（※1）北山五山の一つである（※2）光明寺にまつわるお話しをします。

現在、仙台市博物館では、夏の常設展で特集展示「支倉常長帰国400年」を開催しています。
仙台藩祖伊達政宗公の命により、当時スペイン領だったメキシコとの交易と、仙台藩領内への宣教師の派遣を依頼するため、スペイン・ローマへと派遣された慶長遣欧使節団の一人が支倉常長です。
1613 年 10 月 28 日(慶長 18 年 9 月 15 日)、支倉常長らは、月浦(現在の宮城県石巻市月浦)から、サン・ファン・バウティスタ号に乗り出航し、7年もの間、海外を旅し、メキシコ、フィリピン、長崎を経由して、今から400年前に仙台に帰ってきました。
帰国後、日本ではキリスト教禁教令が発令されており、不遇の人生を歩むことになります。

ちなみに、支倉常長らがヨーロッパから持ち帰った品々は、仙台市博物館が所蔵しており、ほとんどが国宝であり、一部は、ユネスコ記憶遺産にもなっています。
また、スペインのセビリアの近郊、コリア・デル・リオという町には、ハポン、すなわち「日本」という姓を持つ人がおり、この町には、慶長遣欧使節団の支倉常長らが、往路で4日間、復路で9ケ月間滞在しており、慶長遣欧使節団の末裔ではないかとも言われています。
その支倉常長が眠っているとされるお墓(諸説あり)が光明寺にあります。
光明寺の場所は、仙山線の北仙台駅から少し西側の小高い丘の上にあります。
また、境内の西側の奥には、支倉常長の墓があります。(お寺の参道の入口に支倉常長の碑があります。)
歴史の好きな方は、散策がてら是非足を運んでみてはいかがでしょうか。



光明寺の山門（境内へ続く長い石段）

（※１）**北山五山（きたやまござん）とは、**仙台藩祖 伊達政宗公が、仙台開府の際、京都、鎌倉の五山に習い「資福寺」、「覚範寺」、「東昌寺」、**「光明寺」**、「満勝寺」の５つの寺を配置したことから、北山五山と呼ばれるようになりました。
＜出典元：河出書房新社「図説　伊達政宗」より一部抜粋＞

（※２）**光明寺（こうみょうじ）とは、**1283 年（弘安 6）に伊達氏の始祖朝宗夫人の菩提寺として現在の福島県伊達郡国見町に創建されました。慶長遣欧使節としてヨーロッパを訪れた支倉常長の墓があり、案内人となったルイス・ソテロの記念碑が立っています。本堂裏には樹齢 250 年という菩提樹があります。
＜出典元：仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会公式サイト北山五山より一部抜粋＞

（監査室 K）

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは...

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
022-217-4874（監査室長：石垣）
022-217-5680，4880（菅野、小原、深沢、目黒、瀧澤）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@grp.tohoku.ac.jp



メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
© 2010 Audit Office Tohoku University